

**省エネ住宅ポイント事業
環境寄附対象団体 事業報告書**

事業者コード	K024	報告日	2017/3/2	
団体名	南太平洋協会	報告者 (役職・氏名)	事務局長 濱崎 三枝子	
連絡先 (電話/メール)	06-6376-1151/info@aspa- osaka.com	団体ホームページ (URL)	http://www.aspa-osaka.com	
対象分野	地球温暖化防止			
事業・ プロジェクト名	小規模クリーンエネルギー供給装置援助及びエコ住宅建設指導事業			
環境寄附 対象期間	平成27年9月振込分 から 平成28年4月振込分 まで			
寄附額	■ポイント取得者からの環境寄附:		¥3,500	
	■商品交換事業者からの環境寄附(個別指定を受けた寄附):		¥0	
	■商品交換事業者からの環境寄附(特定の分野に均等配分された寄附):		¥0	
	■商品交換事業者からの環境寄附(全環境寄附対象団体に均等配分された寄附):		¥35	
	■商品交換事業者からの環境寄附(全団体に均等配分された寄附):		¥14,423	
	合計:		¥17,958	
当初想定 の環境寄附 の 使い途	寄附金額	寄附額1 (円以上) 100 寄附額2 (円以下) 2,000,000	寄附額1から2の 使い途	装置導入に向けての調査研究費として、援助依頼のある地域で供給調査を行います。
		寄附額3 (円以上) 1,000,000 寄附額4 (円以下) 2,000,000	寄附額3から4の 使い途	専門家及び技師の現地派遣費用及び両国の若者人材育成費です。
		寄附額5 (円以上) 6,000,000	寄附額5の 使い途	水力・太陽光パネル・風力発電装置1基及び設置費用とエコ住宅建設に伴う資材及び備品・道具購入費です。
実際の 環境寄附の 使い途 (使用対象 及び成果等)	<p>環境寄附をどのような活動内容に充てたのか、400字以内厳守でご記入ください。 また、環境寄附の使用対象を明確にし、できる限りその使用対象への成果を明示してください。</p> <p>※カタログ等で公開されている当初想定「環境寄附の使い途」に沿った活動に関する報告をお願いします。 ※別紙「記入例」を参考の上、活動時期・期間、活動規模なども合わせてご記入下さい。 ※寄附額毎に異なる使い途を設定されている場合は、それぞれの活動内容をご記入ください。</p> <p>(概要)1997年パプアニューギニアアイタペ津波被災地へ救援隊派遣以来、毎年近隣の無電化村ソワム(約300人)を拠点にボランティア活動を実施しています。小型太陽光・風力クリーンエネルギー供給装置・地産地消を温暖化防止の重点課題と捉え、現地材使用の自作コミュニティハウス(集会所)建築指導を行い、また3年前から環境保全、無煙燃料となる炭プロジェクト・自作エコ燃料炭の製造を若者に指導しています。(使途)この度の寄附金17,958円は、第14次PNGソワム村支援活動(2016/9/17~10/2)の電動工具購入費(18,144円)に充当させていただき、村に寄贈してきました。(成果)村のリーダー管理の下、村人が電動工具を共有できることにより、従来の住宅建築や木工製作に加え、新たに指導した携帯コンロ製作効率が上がり、ヤシ殻や放置材等利用のリサイクル廃棄物対策の一環であるエコ燃料炭利用率が上がってきた。</p>			